

2023年の石油市場の展望

- 景気後退リスク、OPECプラス減産、ウクライナ情勢のせめぎ合い -

一般財団法人日本エネルギー経済研究所

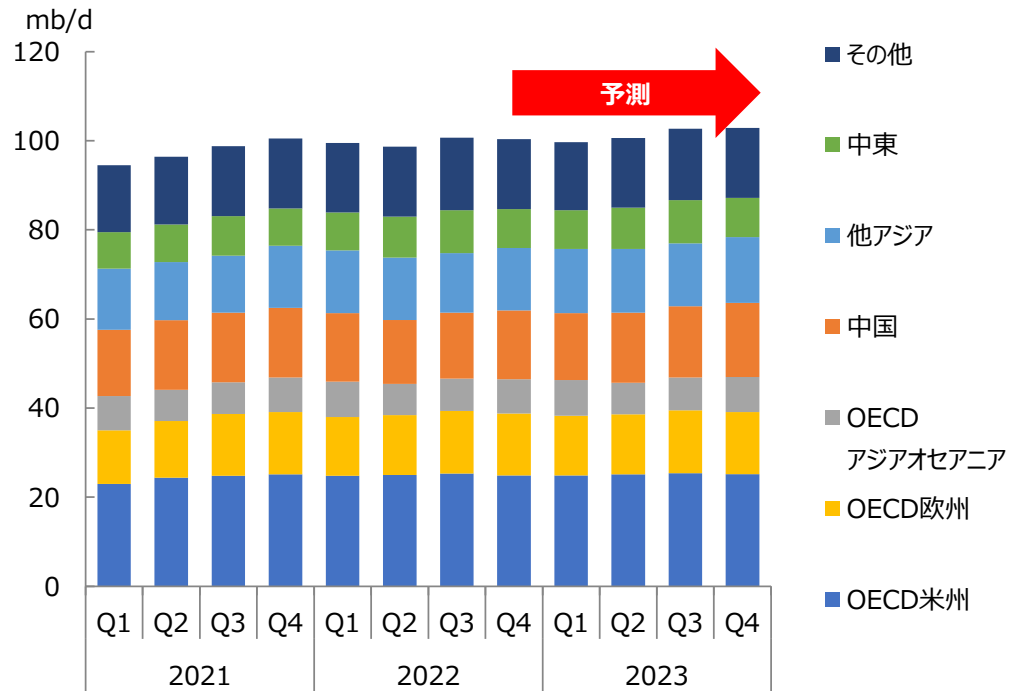
化石エネルギー・国際協力ユニット
石油グループマネージャー 研究主幹
森川 哲男

本報告のポイント

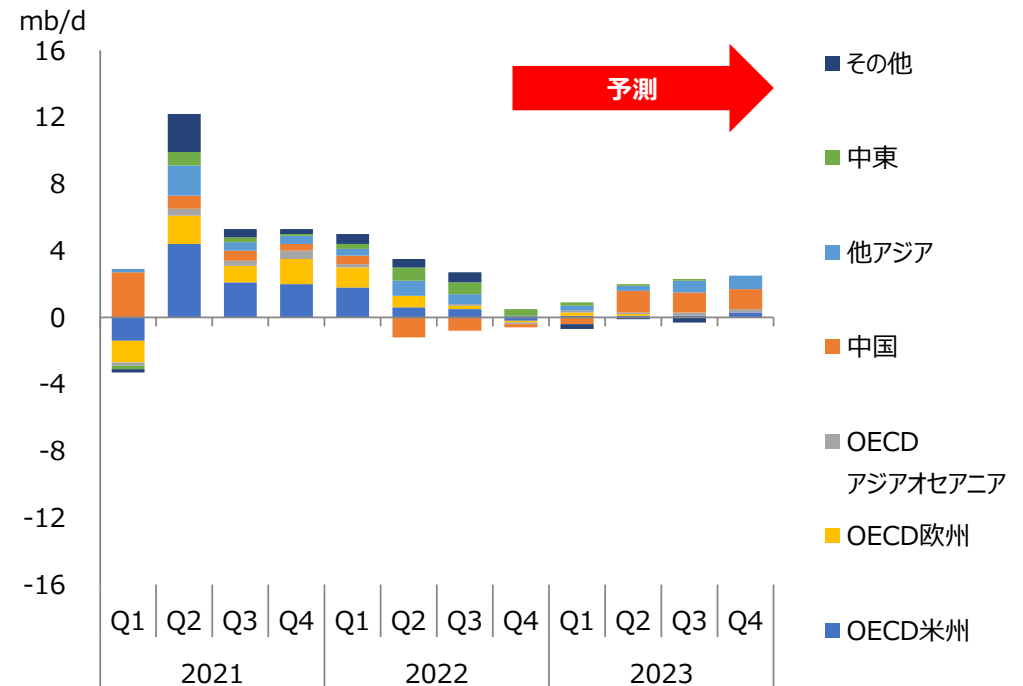
- ✓ 2023年の需要は1億140万b/dとパンデミック前を超え、供給量は1億90万b/dに。OPECプラスの減産強化も影響し需給は徐々にタイト化。
- ✓ ロシアの輸出量は高水準で推移。価格キャップによる輸出抑制効果は限定的か。
- ✓ 米国生産量は引き続き緩やかに増加。2023年の生産量は過去最高を更新。
- ✓ 大規模備蓄放出や米国増産によりOECD商業在庫水準は増加傾向。
- ✓ 2023年のBrent価格は\$90/bblが中心水準と予想。景気後退による需要低迷、OPECプラスの更なる減産強化、ウクライナ情勢は主要な不確実性。

石油需要

需要



需要増減（前年同期比）

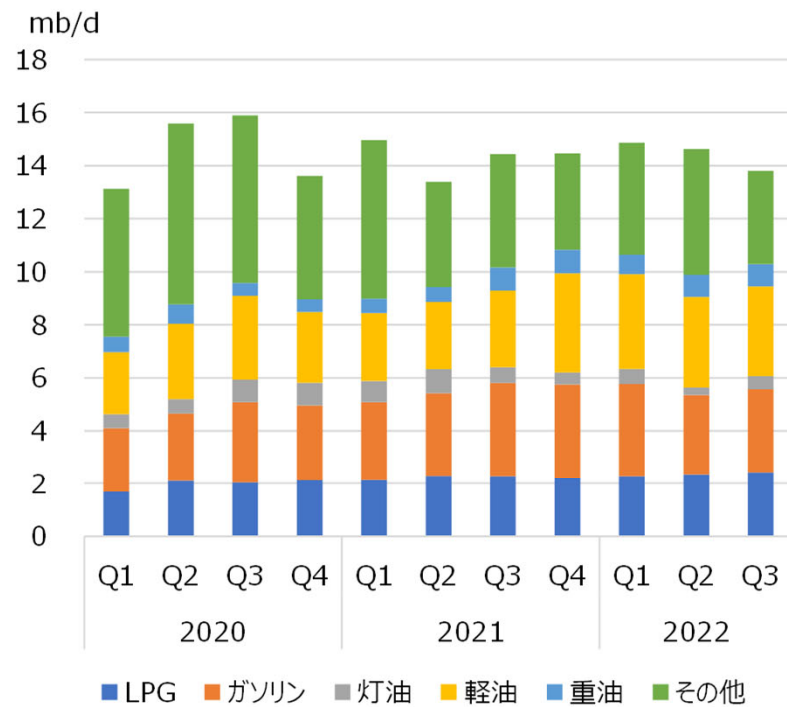


出所: IEA

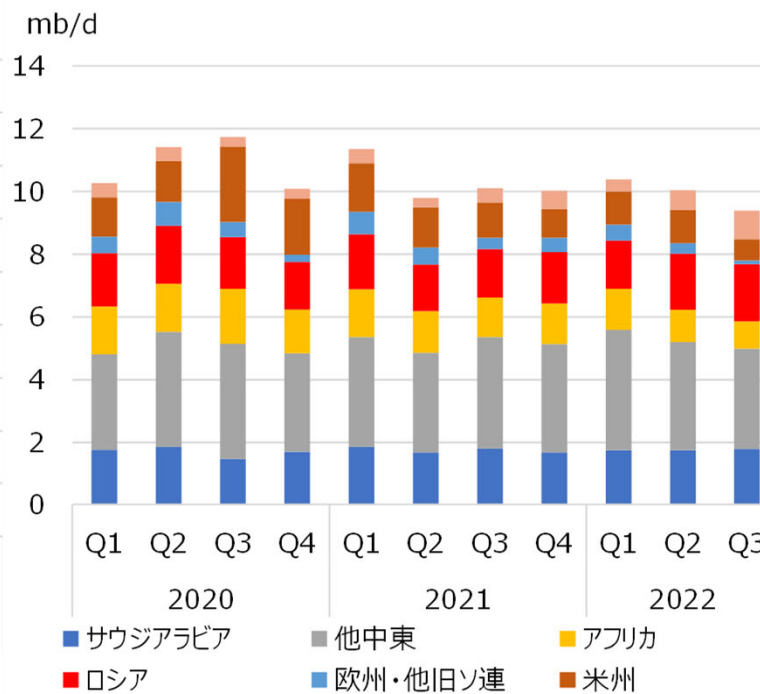
- 2022年第3四半期の需要は前年同期比190万b/d（1.9%）増の1億70万b/d。COVID-19パンデミック前の需要をほぼ回復。
- 2023年の需要は前年比160万b/d（1.6%）増の1億140万b/dと予測も、景気後退による需要低迷は大きなリスク。

中国

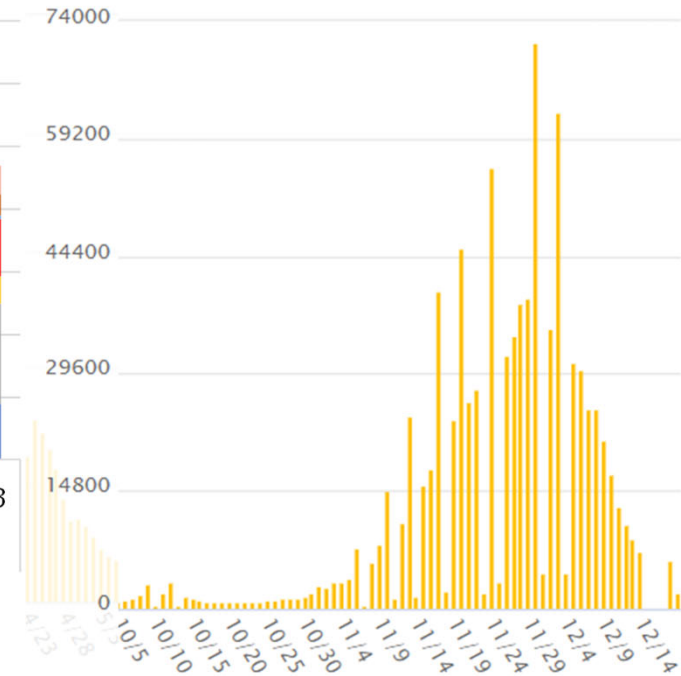
需要



輸入量



COVID-19感染者数

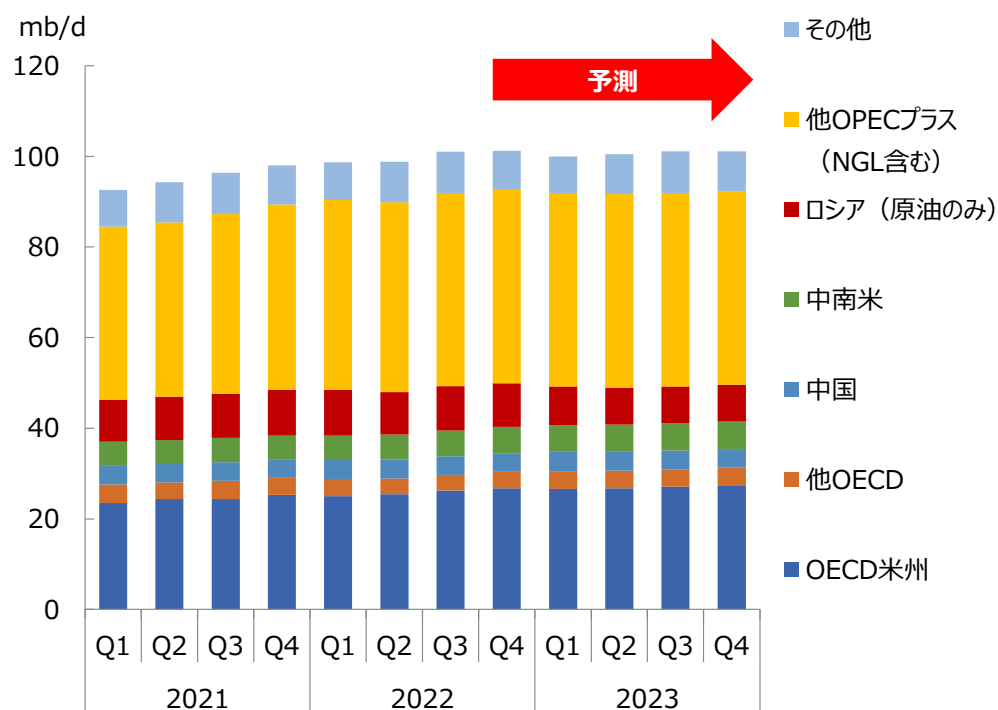


出所: China OGP、NHK

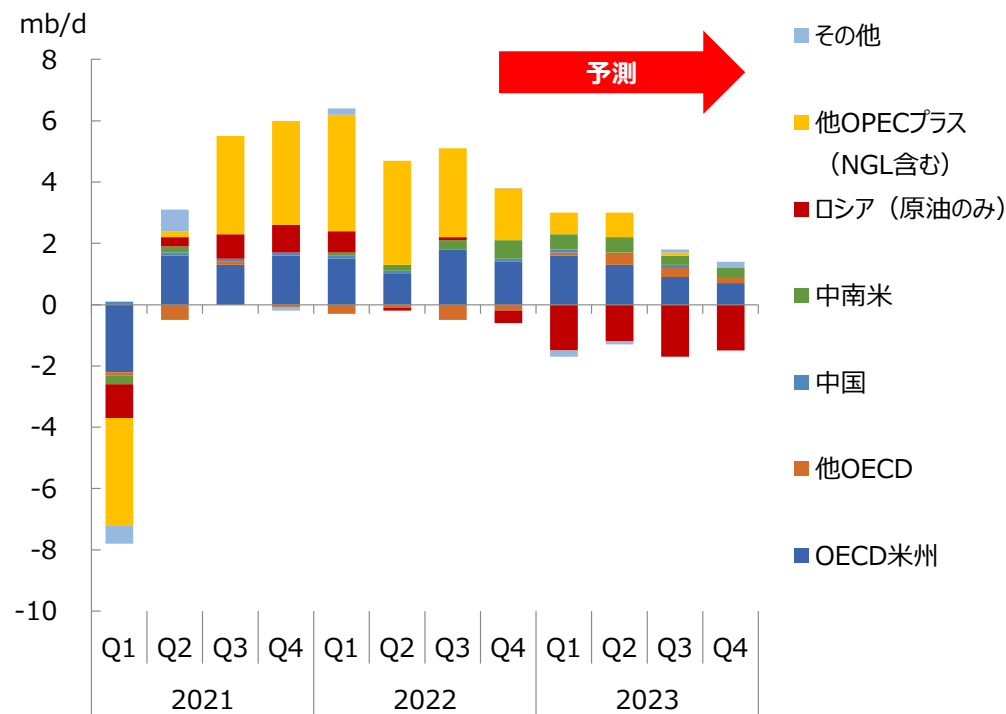
- 2022年第3四半期の需要は前年同期比60万b/d (4.3%) 減の1,380万b/d。
- 景気減速とロックダウン頻発により需要は弱含み。
- ロシア産原油輸入量が急増し2022年第3四半期にはサウジアラビアと並ぶ。

石油供給

生産量



生産量増減 (前年同期比)

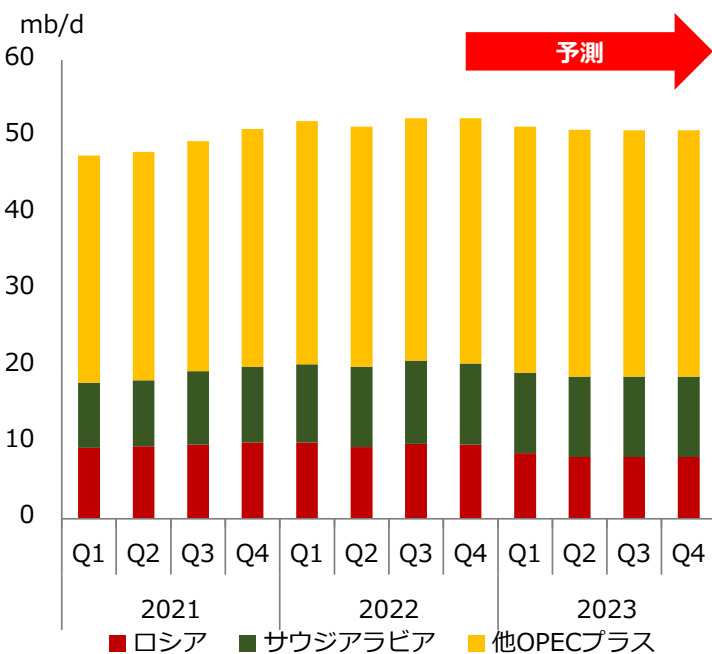


出所: IEA

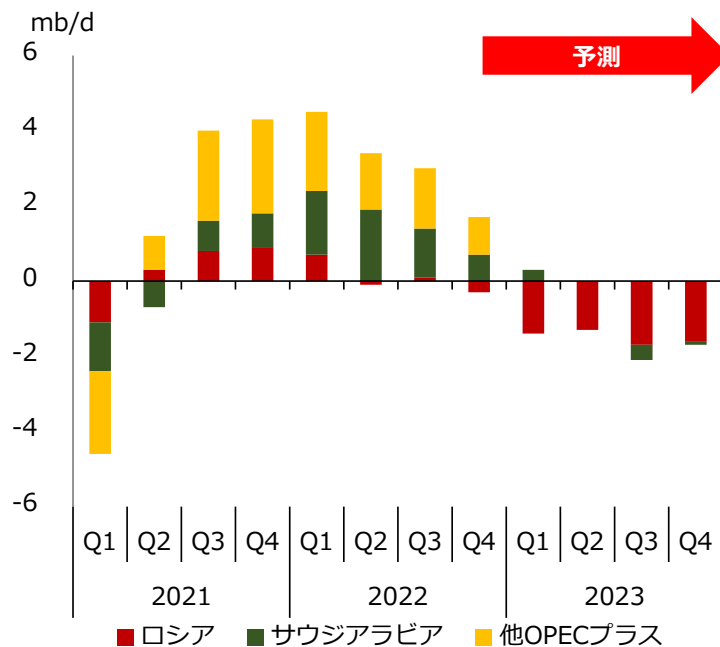
- 2022年第3四半期の生産量は前年同期比470万b/d (4.8%) 増の1億110万b/d。OPECプラス・米国増産で需要を上回る伸び。
- 2023年の供給量は前年比80万b/d (0.8%) 増の1億90万b/dと予測も、ロシア生産量の変動は大きな不確実性。

OPEC+

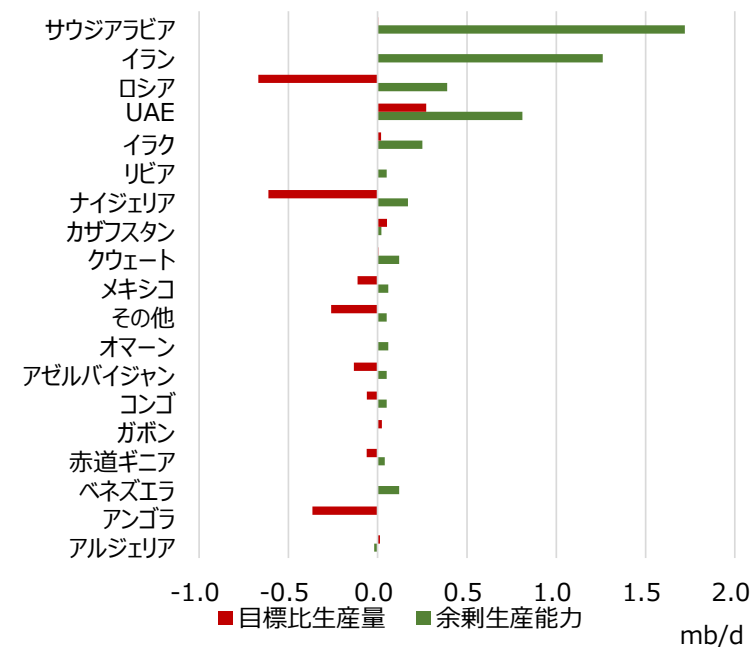
生産量



生産量増減 (前年同期比)



生産目標達成程度と余剰生産能力 (2022年11月)

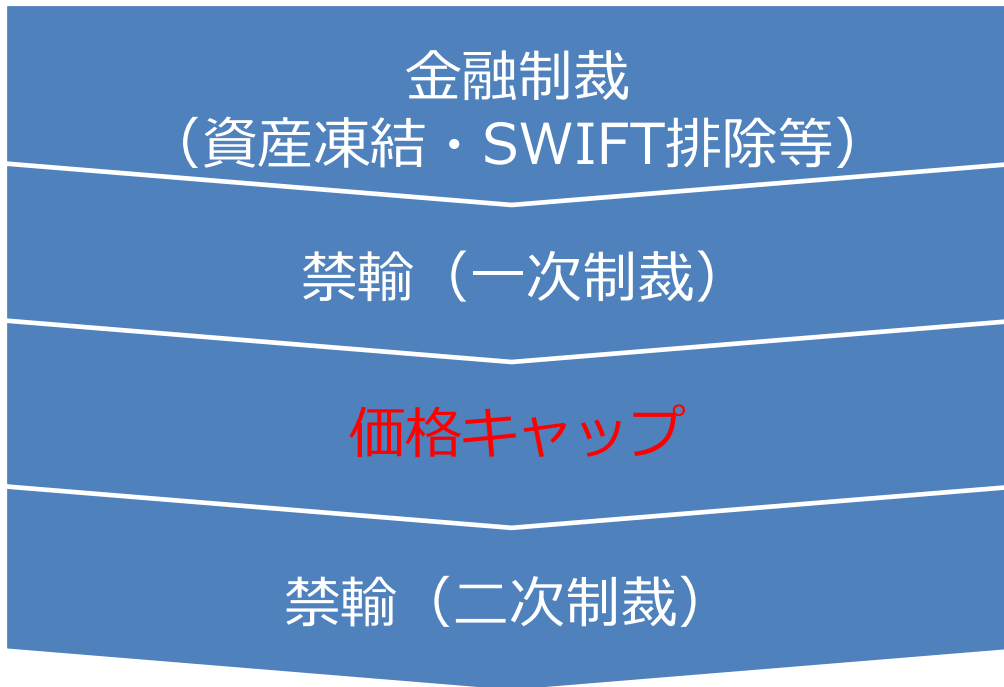


出所: IEA、日本エネルギー経済研究所

- 2022年10月に200万b/d減産を決定。2023年の生産量は2022年比110万b/d (2.1%) 減少見込み。
- 制裁にもかかわらずロシア生産量減少は限定的。
- 12月4日のOPECプラス会合で200万b/dの減産継続を決定。

ウクライナ戦争に対する西側諸国の対応

石油関連制裁



価格キャップの概要

参加地域・国	G7・EU・豪州
上限価格	\$60/bbl
価格改定	1月中旬、その後2ヵ月毎
対象	海上輸送されるロシア原油 (パイプライン輸送分・サハリン2は除外)

出所: EU、日本エネルギー経済研究所

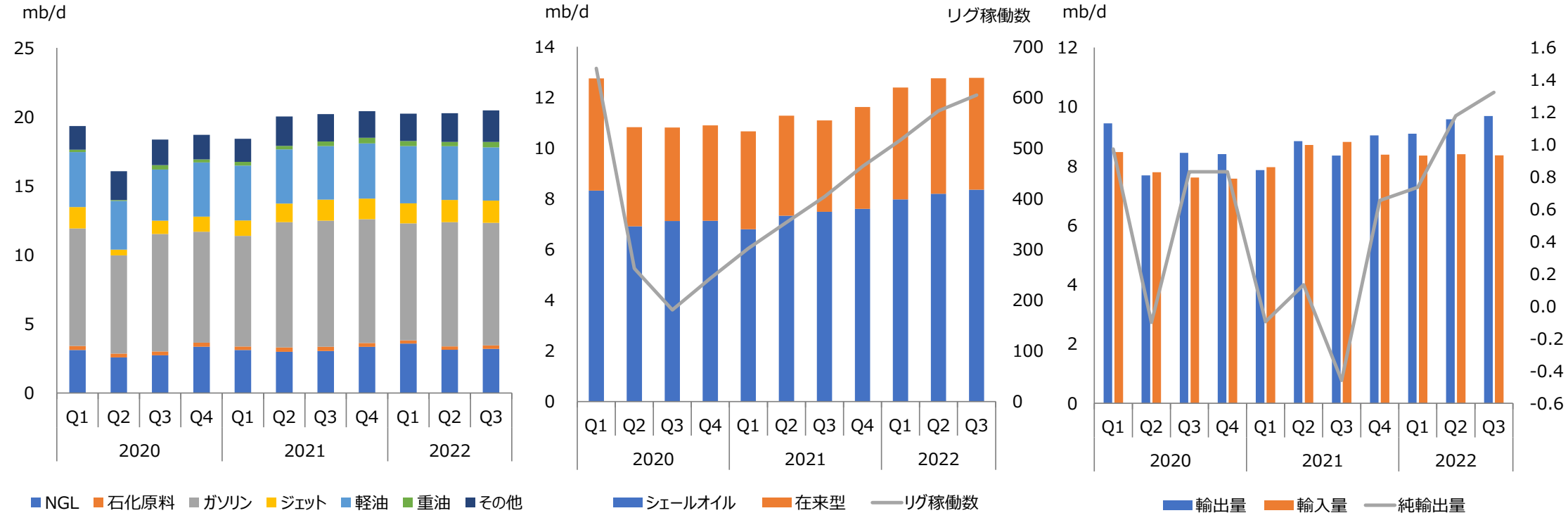
- 12月5日にロシア原油に対する価格キャップを発動。実効性やロシアの報復は？
- EUは同日にロシア原油、2月5日にロシア石油製品を禁輸。中東・米国が主要な代替供給源に。

米国

需要

生産量

輸出入

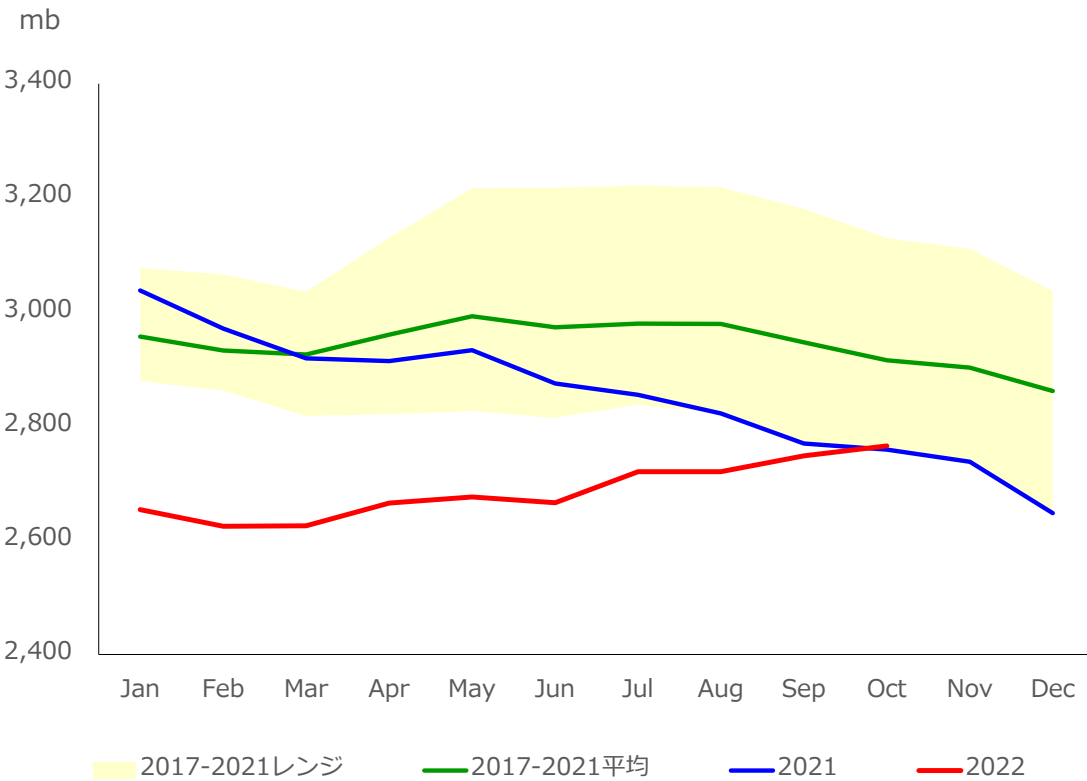


出所: EIA

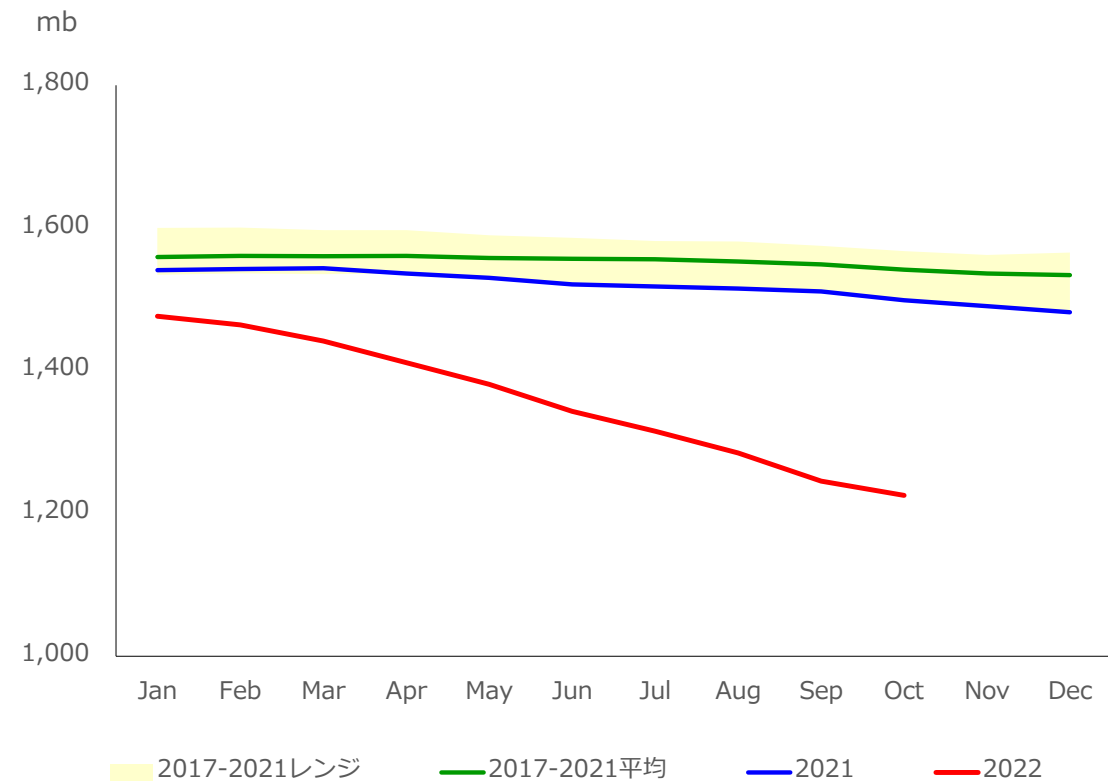
- 2022年第3四半期の需要は前年同期比26万b/d (1.3%) 増の2050万b/d。
- 生産量増加が続いており米EIAは2023年にはパンデミック前の水準回復と予想。
- 純輸出量は増加傾向。欧州のみならず米州やアジア向けも増加。

OECD商業在庫・国家備蓄

商業在庫



国家備蓄

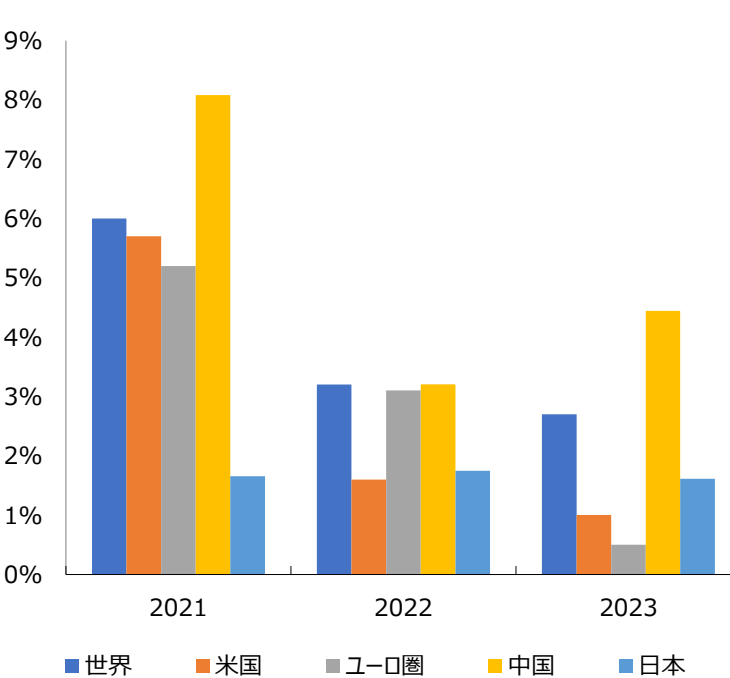


出所: IEA

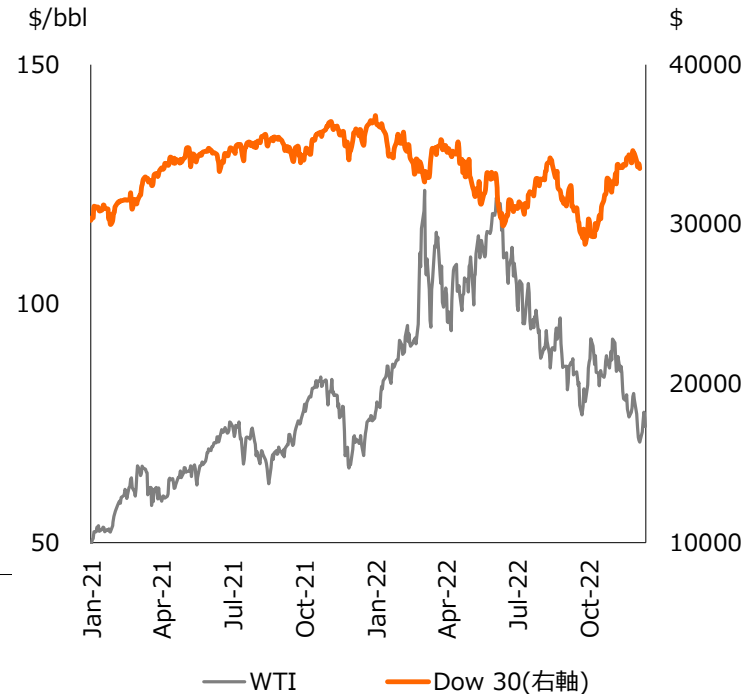
- 2022年10月のOECD在庫は39.9億バレル（商業在庫27.6億バレル、国家備蓄12.3億バレル）。
- 大規模備蓄放出や米国増産により商業在庫水準は増加傾向。

マクロ経済・金融市場

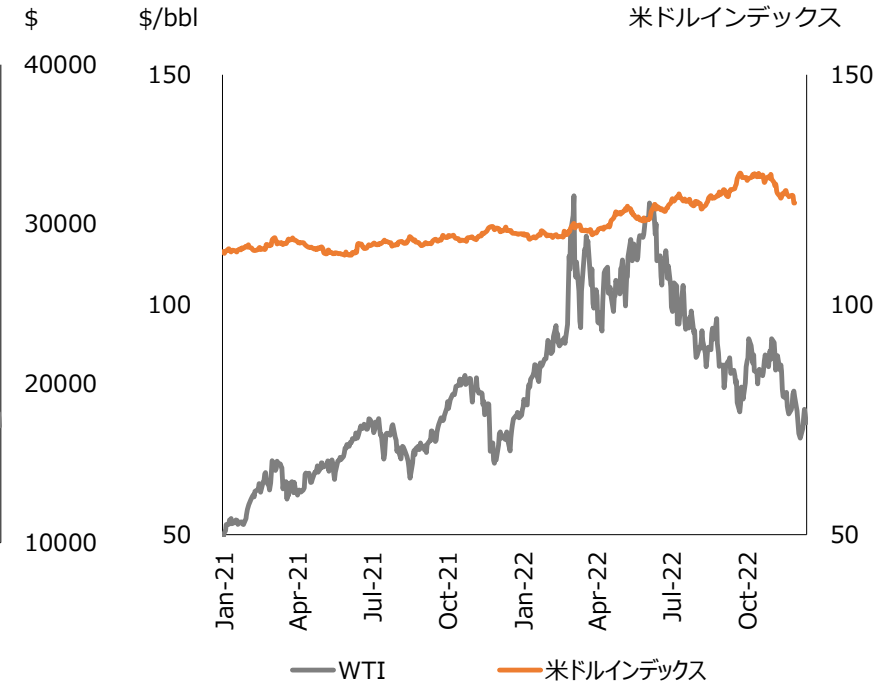
GDP成長率



ダウ平均株価



為替 (ドルインデックス)

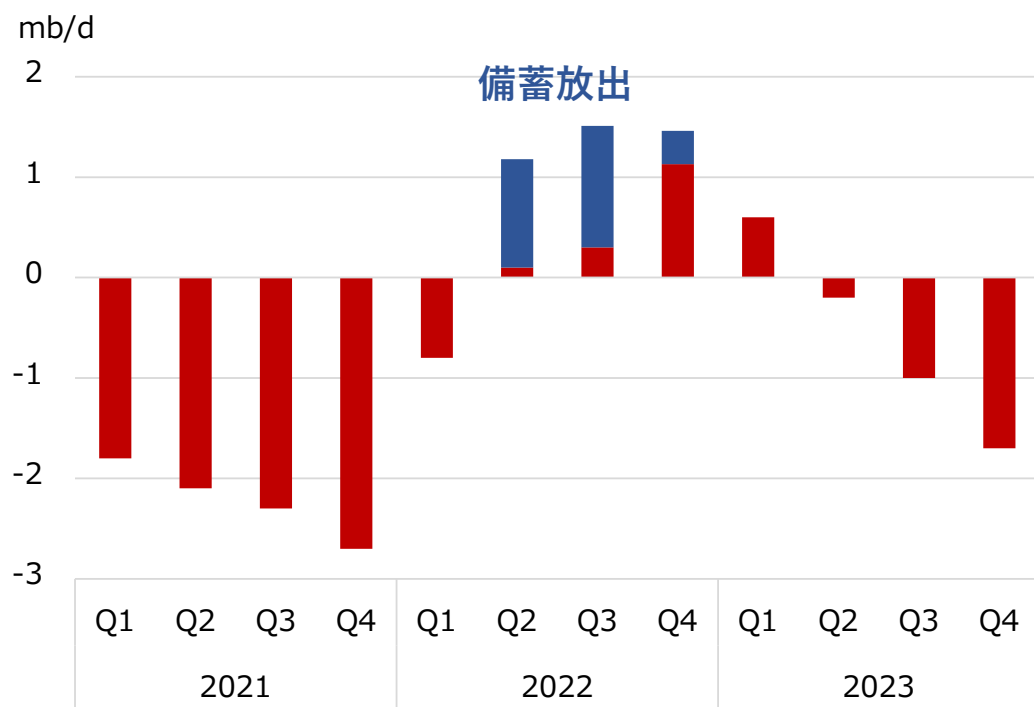


出所: IMF、FRB、CME

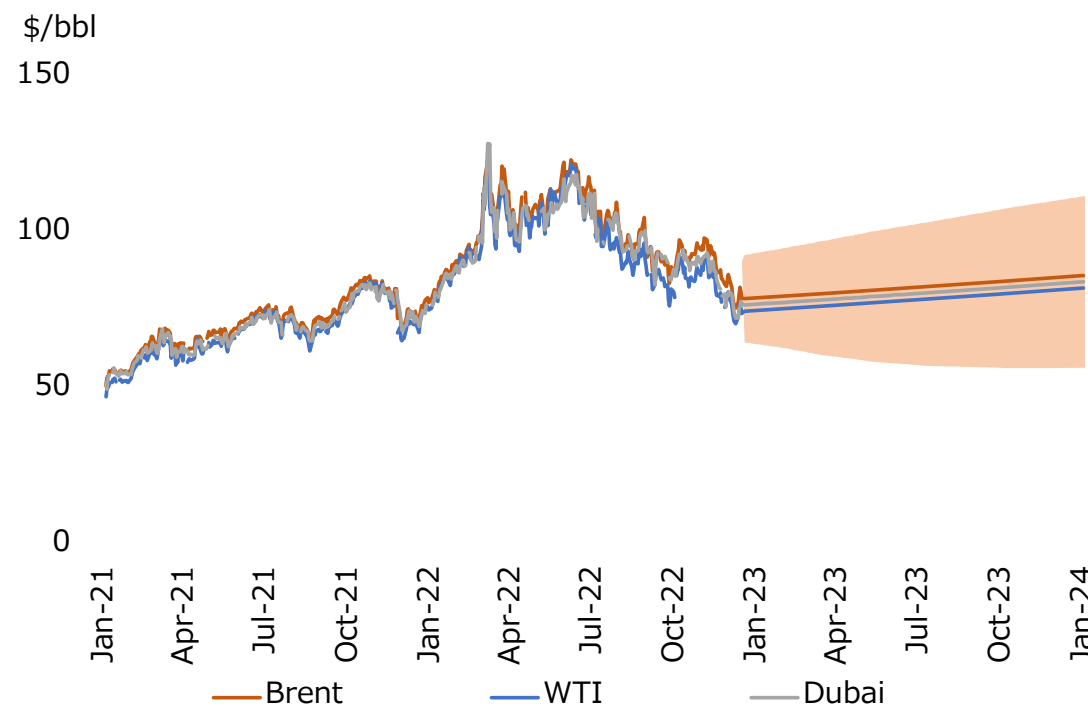
- IMFは2023年のGDP成長率を2.7%に下方修正。欧米が景気後退に陥るという見方も。
- インフレ率鈍化もFRBは利上げ継続の意向で米株価は不安定。
- 利上げペースが緩和すればドル安で油価を下支え。

2023年の石油需給・価格見通し

需給



価格



出所: IEA、CME、ICE、日本エネルギー経済研究所

- 需給バランスは2023年第2四半期に需要超過に転じると予測。
- 2023年のBrent価格は\$90/bblが中心水準と予想。
- 但し、景気後退による需要低迷、OPECプラスの更なる減産強化、ウクライナ情勢は大きな不確実性。